

1 練馬区介護保険条例（抜粋）

第 3 章 介護保険運営協議会

（設置）

第 6 条 介護保険事業の運営に関する重要な事項を審議するため、区長の附属機関として、練馬区介護保険運営協議会（以下この章において「協議会」という。）を設置する。

2 協議会は、区長の諮問に応じて、つぎに掲げる事項について審議し、答申する。

(1) 法第 117 条第 1 項の介護保険事業計画および老人福祉法第 20 条の 8 第 1 項の老人福祉計画に関する事項

(2) その他介護保険事業の運営に関する重要な事項

（組織）

第 7 条 協議会は、つぎに掲げる者につき、区長が委嘱する委員 25 人以内をもって組織する。

(1) 被保険者

(2) 医療保険者（法第 7 条第 7 項に定めるものをいう。）の職員

(3) 医療従事者

(4) 福祉関係団体の職員または従事者

(5) 介護サービス事業者（法第 4 章により保険給付の対象となる事業を行うものをいう。）の職員

(6) 学識経験者

（委員の任期）

第 8 条 委員の任期は、3 年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委任）

第 9 条 前 3 条に定めるもののほか、協議会の組織および運営に関し必要な事項は、規則で定める。

2 練馬区介護保険条例施行規則（抜粋）

（介護保険運営協議会の構成）

第 6 条 条例第 7 条に規定する練馬区介護保険運営協議会（以下この章において「協議会」という。）の構成は、つぎのとおりとする。

(1) 被保険者 8 人以内

(2) 医療保険者の職員 1 人以内

(3) 医療従事者 1 人以内

(4) 福祉関係団体の職員または従事者 6 人以内

(5) 介護サービス事業者の職員 7 人以内

(6) 学識経験者 2 人以内

（会長）

第 7 条 協議会に会長を置き、学識経験者の委員のうちから、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 会長に事故があるとき、または会長が欠けたときは、会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

（会議）

第 8 条 協議会の会議は、会長が召集し、その議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。